

12月定例会
総括質問
 主な質問と答弁

平塚自民クラブ

健全な財政運営と効率的効果的な行政運営を図る。

産業間連携で挑戦

産業活性化に向けた平成24年度の取り組みとして商業、工業、農業、漁業、観光産業が連携し新たな産業活性化を展開する「平塚市産業活性化会議」を設置したが、会議の状況を伺う。

岩田 耕平 議員

輝く平塚未来像

平塚市が持っている優れた地域資源や特性を生かし、行政組織のイノベーションや、独創的なアイデアの発揮といった地域総動員での人材活用による新たな取り組みの実現に向け、どのように政策を進めていくのか。

市長 政策立案機能の強化や経営的視点の導入などを取り入れ、平成25年度からは新しい組織体制で、より

出縄 喜文 議員

ツインシティ整備計画と農業政策

新幹線新駅とツインシティ橋(新橋)について、事業の進捗状況と今後のスケジュール、予算の概略などを伺う。

まちづくり事業部長 JR東海は、リニア中央新幹線の開業後は東海道新幹線の列車ダイヤの過密度が緩和されるため、自治体からの要望による「請願駅」など、新駅設置の余地が高まるとの認識を示しているが、スケジュールや予算は明確になっていない。新橋は、大

神地区の面整備と同時に都市計画決定が受けられるよう県が準備を進めている。なお、当該事業への本市の負担はない。

湘南新道整備事業

国道129号との交差点の渋滞の解決策を伺う。

交通戦略と道路行政

国道や県道の整備はどのように進めていくのか。

土木部長 国道134号の

農地が宅地化されるが、農業関連団体の意向調査はどのように行われ、見解はどうだったか。

まちづくり事業部長 農協は、「農地を生かす」という難しい立場である。国の農林漁業調整の動向を注視していることだが、農協組合員を含めた地区内の土地所有者からは、おおむね賛同を得ている。地元の土木水利組合委員や生産組合の代表者も地元組織である「ツインシティ(大神地区)推進委員会」のメンバーとなっているが、事業についての議論の場では、特に反対意見は受けていない。相模川西部土地改良区につ

は、事業の概要や進捗状況の情報提供を行うとともに、事業に関連した公共施設の取り扱いなどの意見交換も行っている。農業委員会の見解としては、地元農家の代表者も会議に参加しており、地元での意見が重要であると考えている。

大門通り周辺

国道1号の平塚八幡宮前に横断歩道と信号機を設置するよう国・県に働きかけることを提案する。

湘南新道整備事業

国道1号と駅前大通り線が交差する宮の前交差点に新たな歩道橋があるが、バリアフリー化の進捗状況を伺う。

土木部長 国土交通省が今後、歩道橋を撤去し、横断歩道を設置することなどを検討しバリアフリー化を図るので、本市としても促進を図っていく。

市税

新しい施設や文化的な施設を巡っていただけりような人の流れをしっかりと作ってきたい。その中で大門通りから国道1号を横切るためのルートは大切であり、安全確保を検討していく。



三が日に国道の横断が許可され昔の姿を取り戻した大門通り

平成23年度 決算の認定

決算特別委員会による審査

昨年10月に開催した決算特別委員会における平成23年度の各会計決算および病院事業決算の審査結果をお知らせします。

審査の概要

決算全体に関する質疑では、経済不況で税収が大幅に落ち込んだにもかかわらず、単年度収支が実質3億9000万円ほどの黒字となった要因や、予算の執行残額の積み重ねである不用額をほかの事業に流用することに対する考え方について、活動の成果と課題が問

われました。

衛生費

太陽光発電システムの設置補助事業で、平成23年度の補助件数に対する評価や、共同住宅も補助対象とすることについての検討状況などが問われました。

教育費

幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携推進事業の実施の目的や事業内容、費用対効果について質疑がありました。

競争事業特別会計

臨時従事員の賃金について、経費削減に向けた合理化策が問われました。

病院事業

平成23年度に設置された「地域医療・患者支援室」の設置状況などについて質疑がありました。

平成23年度一般会計 歳入歳出の内訳

